

令和元年度「地域発！いいもの」として選定された取組について(概要)

No.	都道府県	取組名称 (応募企業・団体名)	○：取組の概要 ◆：評価のポイント	取組概要及び評価のポイント
1	岩手県	摘花された花たちの再利用 ～天然色素から生まれるホップ和紙の新たな挑戦～ (岩手県立遠野緑峰高等学校草花研究班)	○ ホップの蔓の廃材を利用した和紙の商品化に向けて、花の廃材を利用した染色・媒染方法を確立し、より鮮やかに和紙を染めることに成功し、摘花された花の有効利用に繋げた取組。 ◆ 廃材を利用した染色技術の研究・商品開発に関して、獨創性、新規性及び先見性が評価された。 ◆ 7年間掛けて、ホップ蔓の廃材を利用した和紙の製造及び花の廃材を活用した染色などを行っており、商品化に向けた継続した取組が評価された。	
2	東京都	おおたオープンファクトリー 「おおたオープンファクトリー実行委員会 (事務局：一般社団法人大田観光協会)」	○ 産業振興、観光振興及び後継者確保のため、地域の企業や団体と連携し、大田区に集積する多くの町工場を1年に一度公開し、ものづくり体験等を提供することにより、ものづくりのまち大田区をアピールする取組。 ◆ 地域・企業と連携し、ものづくりのまち大田区をアピールする取組が、斬新かつ獨創的として評価された。 ◆ 産学官が連携し、地域のブランディングを図る取組が獨創的として評価された。	
3	岐阜県	「飛騨の匠」技能育成プロジェクト ～技能開発委員会による若手、後継者育成の取組～ (協同組合飛騨木工連合会)	○ 家具産業及び若手技能者の育成のため、地域の企業間で連携し、技能講習会の実施、技能検定の奨励、ものづくり体験教室の実施等を行う取組。 ◆ 企業間の壁を破って連携することによって、飛騨の家具産業の発展、技能者の育成につなげたことが効果的な取組として評価された。 ◆ ものづくり体験教室の実施、県立の家具専門学校に対する講師派遣などの取組が、地域貢献や地域活性化に資すると評価された。	
4	岐阜県	各務原にんじんを使ったお菓子・料理の商品化プロジェクト ～地域産品を地域のものづくり産業と大学が力強くサポート～ (各務原人参ブランド推進連絡協議会)	○ 各務原にんじんのブランド化に向けて、自治体、農業協同組合、商工会議所、大学など多くの団体が連携し、洋菓子・パンなどの商品開発、メニュー開発、料理教室及びコンクールなどを行う、地域をあげた取組。 ◆ 産学官で連携協定を締結して、特産の農産物である、各務原にんじんの普及・啓発、ブランド化につなげるなど、取組に地域の広がりがあり、効果的として評価された。 ◆ プロの技能者からのアドバイスが、若い世代にはよい刺激となると同時に、技能者側にとっても、教えるという体験が、技能向上の良いきっかけとなっていることなどが効果的な取組として評価された。	
5	島根県	地域と連携した窯芸活動 (大田市立第三中学校)	○ 60年にわたり、地場産業である石州瓦の企業と連携して、中学校の敷地内にある登り窯にて窯芸を行う取組。学校の生徒、卒業生、PTAが一体となって地域の技能の伝承及び普及を行っている。 ◆ 60年にわたり、学校、PTA、卒業生や企業などが一体となって、地域に残る技能の伝承を行う取組の継続性が評価された。 ◆ 地場産業として、石州瓦を生産している地元企業の指導による作陶を通して、地場産業を理解する取組が効果的であるとして評価された。	
6	長崎県	そうめんプロジェクト (長崎県立島原農業高等学校)	○ 自治体、長崎県の経済団体などの支援を受けて、島原農業高等学校と企業が連携して、「島原手延べそうめん」の知名度アップを図るなど、地域資源活性化に向けた産学官連携プロジェクトの取組。 ◆ 伝統的な手延べ麺の製造技法を生徒が体験することで、地元の伝統的な製麺業に興味関心を抱き、地元の業界への就職につながっていることなど、地域への技能振興が評価された。 ◆ 島原農業高等学校と企業とが連携して、「島原手延べそうめん」の知名度アップに向けた製品開発を、継続的に行っている点が評価された。	
7	長崎県	高校生・大学生と中小企業の交流企画行事 「スマコマながさき小型モビリティコンテスト」 による後進若手技能者育成への取組 (信栄工業 有限会社)	○ 『坂の街』長崎における、小型モビリティカーの製作コンテスト(「スマコマながさき小型モビリティコンテスト」)を通じた、高校生、大学生及び中小企業間のものづくり交流の取組。 ◆ 県内高校、大学、地元企業との連携によって実現しており、地域との連携が評価された。企業からは部品の提供や技術面の支援を受け、参加高校・大学と地元企業との接点が生まれたことも評価された。 ◆ 『坂の街』長崎に「電動手すり」の設置などを行い、地域に貢献。そのほか「階段昇降アシスト手すり」など地域特性に応じた製品の開発を手がけている点が評価された。	
8	熊本県	山鹿灯籠の技術・技法の継承、後継者の育成 (山鹿灯籠振興会)	○ 和紙工芸の極致とも評されている山鹿灯籠に関する技術・技法の継承、後継者の育成及び新しいライフスタイルに合わせた商品開発を地域、自治体と連携しながら進め、伝統技能の継承と地域活性化を行う取組。 ◆ 山鹿灯籠の認知度向上、地域における灯籠振興の気運醸成に寄与。山鹿灯籠製作体験教室は、34年前から実施しており、長期間に渡る取組として、地域に貢献していることが評価された。 ◆ 現在の灯籠師9名のうち5名が当教室の出身者であり、後継者の育成に大きく寄与していることが評価された。	